

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく

国立第七小学校 平成26年2月27日 NO.92



オー君 「うわあー！きれいなお花だ。」

花ちゃん 「ホトケノザというのよ。」

オー君 「どこにさいているの。」

花ちゃん 「え！オー君知らないの。校舎（こうしゃ）のウラや、わくわくドキドキ農園のはじっこ、それから、あちこちの畑などにいっぱいさいているわよ。」

オー君 「そうなんだ。おいら、まったくしらなかったな。」

花ちゃん 「とても小さなお花なのよ。それで、気がつかなかったのね。」

オー君 「小さなお花といえば、オオイヌノフグリも小さかったね。」

花ちゃん 「そうね。思い出して！いまの季節（きせつ）は小さくかわいいお花がいっぱいのよ。」

オー君 「どんなお花があったっけ？」

花ちゃん 「ナズナでしょ、ハコベでしょ。それから、ヒメオドリコソウ。それから、タネツケバナもあったわね。」



ハコベ (ナデシコ科)

オー君 「いろいろあるんだ。それにしても、立っていたら、見えないものばかりだ。」

花ちゃん 「それで、お花を見る時には、ひざをついて観察（かんさつ）するのよ。」

オー君 「ひざをついて観察するということは、それだけお花が小さくて、地面（じめん）の近くに生えていたということだよな。」

花ちゃん 「そうね。それがどうかしたの。」

オー君 「そこで、おいらは考えたのさ。今ごろ花をさかせるような植物って、みんな背（せ）が低（ひく）いんだ。」

花ちゃん 「オー君。大発見ね。すごい事に気づいたね。」

モンタ博士 「その通りだね。すごいぞ。とってもよく気がついたね。」

オー君 「今ごろ花を咲かせる植物は、みんな背が低いんだ。おチビちゃんばかりなんだ。背（せ）が低ければ、風もあまりあたらないし、あったかいということなんだ。」

モンタ博士 「オー君は、本当によく観察できたね。よく考えたり、じーと見たりしていると、いろいろなことに気づくんだね。それが素晴らしいことだね。」

花ちゃん 「オー君に拍手（はくしゅ）！パチパチパチ。ところで、地面の近くって、どのくらいあたたかいのかな・・・。」

To be continued